



株式会社リボルバー、代表取締役交代のお知らせ

Language-Free構想とprismの事業化を推進する西 宏司が新代表に。
松本庄司は取締役CTOとして新体制を支える

2026年9月17日
株式会社リボルバー

株式会社リボルバー（本社：東京都港区、代表取締役CEO 兼 CTO：松本庄司、以下リボルバー）は、2026年9月16日開催の定時株主総会および取締役会を経て、同年10月1日付で取締役COOの西宏司が代表取締役社長に就任することを決定しました。現代表取締役の松本庄司は、取締役CTOとして引き続き技術・開発を担い、新体制を支えます。

代表交代の背景と新体制について

リボルバーは、クラウドCMS「dino」を通じて、企業サイトやオウンドメディアの情報発信を支えてきました。創業者・小川浩の逝去後は、創業メンバーであり取締役CTOを務めていた松本庄司が代表を引き継ぎ、経営と技術の両面から事業の継続と組織の安定に取り組んできました。

その事業基盤のもと、今後の成長に向けて西 宏司が構想し、事業化を推進してきたのが、9月1日に発表した「Language-Free」構想とAI多言語発信プラットフォーム「prism」です。企業が自ら発信できる仕組みを、言語の壁を越えて情報が届く仕組みへと広げる取り組みです。

今回の代表交代では、松本が支えてきた事業基盤を受け継ぎ、西がprismの事業化と会社全体の経営に責任を持つ体制へ移行します。松本は再び取締役CTOとして技術と開発に軸足を戻し、それぞれの役割からリボルバーの次の成長を進めます。

コメント

現代表：松本 庄司

「私は創業メンバーとして、小川浩とともにリボルバーを立ち上げ、取締役CTOとして技術と開発を担ってきました。小川の逝去を受けたとき、会社を支え、お客様へのサービスと社員が働く場を守ることは、ともに創業した自分の責任だと考え、代表を引き継ぎました。

皆様の支えと社員一人ひとりの力によって事業をつなぎ、今、dinoに続くprismを発表できるところまで来ました。その構想と事業化を推進してきた西に、会社の次の成長を託します。

私は再び取締役CTOとして技術と開発に軸足を戻し、新代表の西を支えながら、Language-Freeの実現に取り組んでまいります」

新代表：西 宏司

「リボルバーがこれまで培ってきた『発信する仕組み』を、これから誰の、どんな課題のために生かすのか。その問いに向き合う中で生まれた構想が、Language-Freeです。自分の言葉で発信した情報が、言語の壁を越えて届く。その状態を、お客様が日々使えるサービスとして実現したいと考えています。

本日発表するprism OKAMI Editionは、その最初の一步です。宿の人が自分の言葉で伝える日常や魅力を、世界の旅行者へ届ける。構想を商品にし、現場で使っていただき、事業として育てるところまで、代表として責任を持って進めていく覚悟です。

小川が築き、松本が支えてきたリボルバーを引き継ぐ責任を胸に、お客様、社員、そして支えてくださる皆様とともに、次の成長をつくってまいります」

代表交代に伴う役職の変更

2026年10月1日付

氏名	現役職	新役職
西 宏司	取締役COO	代表取締役社長
松本庄司	代表取締役CEO兼CTO	取締役CTO

西 宏司 略歴



1996年早稲田大学卒。同年パイオニア株式会社に入社し、国内営業・マーケティング業務等に従事。2006年に独立・起業し、株式会社オルガメタ（後に株式会社ドレスファイルに商号変更）を設立、代表取締役に就任。翌2007年、洋服のオンライン保管サービス「ドレスファイル・オンラインクローゼット」をローンチ。2011年に同事業を譲渡後、Web制作会社等を経て2014年に株式会社リボルバーに入社。2025年に取締役COOに就任し、現在に至る。

株式会社リボルバーについて

リボルバーは、クラウドCMS「dino」を通じて、企業サイトやオウンドメディアの情報発信を支えてきました。2026年9月1日には、Web上の情報発信に残る言語の壁をなくす「Language-Free」構想と、その実現基盤となるAI多言語発信プラットフォーム「prism」を発表しています。

社名：株式会社リボルバー

創業：2012年7月30日

代表者：松本 庄司（代表取締役CEO 兼 CTO）※本発表時点

本社：東京都港区新橋5-33-10

URL：<https://revolver.co.jp>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社リボルバー 広報チーム（會田）

E-mail：press@revolver.co.jp

URL：<https://revolver.co.jp/Contact>